

# 同志社大学経済学部 ゼミ選び戦略ガイド

## ～データで読み解く「真の実力」～

### DE-Hack

## 第1章:はじめに ——噂や倍率だけでゼミを選ぶ危険性

同志社大学経済学部の2年生にとって、秋学期から本格化するゼミ選びは、今後の学生生活、ひいては卒業後のキャリアを決定づける極めて重要な分岐点です。しかし、多くの学生は先輩から聞いた噂(楽単かどうか)や、前年の志願者数(倍率)という表面的な情報だけで志望先を決定し、ミスマッチを起こしています。

この資料の目的は、そうしたガラパゴス化した噂を排除し、客観的なデータに基づいて各ゼミの真の価値を可視化することにあります。ゼミとは、教員の研究活動の延長線上にある教育の場です。したがって、教員がいかに学術的な最前線に立ち、どのような評価を受けているかを知ることは、皆さんがそこで得られる学びの質を測る最良のバロメーターとなります。

この資料では、国際的な論文データベースや国の研究費採択状況などの客観的指標を用い、教員の研究力と学生からの人気の関係性を徹底的に紐解きます。「倍率が高い＝良いゼミ」「倍率が低い＝悪いゼミ」という単純な思い込みを捨て、自身のキャリアプランや学びの関心に最も合致するゼミを見つけてください。

## 第2章:本資料における評価指標の定義

データを読み解く前に、本資料のベースとなっている各指標の意味を正しく理解してください。これらの数字や記号は、教員の指導スタイルやゼミの水準を示す強力なシグナルです。

- 被引用数 & h-index【Scopusより抽出】〈2026年4月11日時点〉
  - 意味: その教員の研究論文が、世界中の他の研究者からどれだけ引用されているかを示す国際的な影響力の指標です。
  - 見方: この数値が高い教員は、長年にわたり世界の経済学界にインパクトを与え続けている権威であることを意味します。世界基準の論理的思考を学びたい学生にとって重要な指標です。
- 科研費の獲得採択数【KAKENより抽出】〈2026年4月11日時点〉
  - 意味: 文部科学省・日本学術振興会からの公的な研究費助成(科学研究費助成事業)を過去に何回獲得したかを示します。
  - 見方: 厳しい審査を通過して予算を獲得している証であり、現在進行形でアクティブに研究を行っているかを測るバロメーターです。
- 安田リスト掲載【\*マーク】〈2026年4月11日時点〉
  - 意味: 政策研究大学院大学教授の安田洋祐氏が作成した、経済学のトップジャーナルに論文が掲載された実績を持つ研究者リストに名があることを示します。
  - 見方: 極めてハードルの高い国際誌を突破する研究の質と突破力の証明です。この

マークがある教員は、学術的に非常にハイレベルな指導ができる実力派です。

- 御所北セミナー主催【◆マーク】
  - 意味：同志社大学内で開催されている、最先端の理論・実証研究を議論する高度な学術セミナーを主催している教員です。
  - 見方：学部内でも特に学術的なコミュニティを形成しています。本気で学問を深めたい、あるいは大学院進学を視野に入れる学生にとっては最高の環境です。
- 同志社大学出身【(同)マーク】& 新任教員【NEWマーク】
  - 見方：同志社出身の教員は学内の空気感や学生の気質を熟知しており、親身な指導が期待できます。また、新任の教員はまだゼミのカラーが定まっておらず、1期生として新しい伝統を作れるチャンスがあります。

### 第3章：経済学部教員データ完全版

以下の表では、各教員の実績データと昨年の志願者数をまとめました。特定の教員を探す際の指標として活用してください。ただし、Scopusで確認できなかった教員はこの表には登場していません。しかし、名前が挙がってなくても優秀なゼミはあります。学部のHPやゼミのインスタもチェックしてください。

氏名(漢字)	専門分野	被引用数	h-index	科研費	志願者数
荒渡良*◆(同)	マクロ/政治	131	6	9	46
東良彰(同)	マクロ	12	2	1	33
藤本穰彦 NEW	環境	55	5	8	-
本領崇一*◆	ゲーム/政治	33	4	6	9
石田葉月	環境	418	4	5	0
岩澤政宗	計量	2	1	5	2
河島伸子	文化	358	10	11	34
北坂真一	金融	89	6	5	0
小林千春	IO	5	2	0	33
前林紀孝 NEW(同)	マクロ	72	5	3	-
三俣学	環境	35	2	8	23
宮本大(同)	労働	2	1	8	41
宮澤和俊	公共	82	6	16	28
茂見岳志*	ゲーム/ミクロ	40	5	3	18
内木栄莉子 NEW(同)	金融	30	3	4	-
新関三希代	金融	8	2	0	50
法雲俊栄	ICT	3	1	2	17
大垣昌夫*	行動	1422	17	11	42
迫田さやか(同)	公共	3	1	6	4
佐藤敦紘(同)	ゲーム/ミクロ	22	3	3	28
手島健介*◆	開発/都市	148	4	8	1
和田喜彦	環境	427	2	5	22
八木匡	文化/行動	52	5	18	7
山本和博*	都市	357	8	14	5
四谷晃一(同)	労働	6	1	2	16

## 第4章: データから浮かび上がる「ゼミの3類型」と戦略的アプローチ

第3章のデータを分析すると、教員の研究実績と学生の志願者数の関係において、明確な3つの類型が存在することが分かります。自分の目的に合わせて、どの類型のゼミを狙うべきかを見極めてください。

### 類型1: 王道型(高実績 × 高人気)

被引用数や科研費が圧倒的でありながら、志願者数も多い層です。

- 該当教員: 大垣昌夫先生(行動)、荒渡良先生(マクロ/政治)、河島伸子先生(文化)など。
- 特徴と戦略: 特に「行動経済学」や「文化」といった学生の興味を引きやすい分野で、世界基準の実力を持っています。選考の倍率も高くなるため、志望理由書の作り込みやGPAなど、相応の準備と覚悟が必要です。就活でも面接官に語れる強いエピソードを作りたい学生には最適です。

### 類型2: 実学志向・就職直結型(実績控えめ × 超高人気)

学術的な実績スコア以上に、学生からの圧倒的な支持を集めている層です。

- 該当教員: 新関三希代先生(金融・50名)、宮本大先生(労働・41名)など。
- 特徴と戦略: 金融機関や一般企業の人事など、卒業後のキャリアに直結しやすい分野です。研究の厳しさよりも、コミュニティとしての強さや就活サポートの充実度が人気の要因と考えられます。ただし、競争率が極めて高いため、選考から漏れた場合のリスクヘッジが必須です。

### 類型3: 穴場の少数精鋭型(高実績 × 低人気)

安田リスト(\*)に名を連ね、御所北セミナー(◆)を主催するようなSランクの実力を持ちながら、志願者数が少ない層です。

- 該当教員: 手島健介先生(開発/都市・1名)、本領崇一先生(ゲーム/政治・9名)、山本和博先生(都市・5名)など。
- 特徴と戦略: 志願者が少ないのは悪いゼミだからではなく、求められる水準が高く、生半可な気持ちではついていけないと学生側が敬遠しているからです。しかし裏を返せば、上位国公立大学レベルの高度な指導を、少人数で独占できる環境が低倍率で放置されているということです。大学院進学や、外資系企業などで通用する高度な論理的思考力を鍛えたい学生にとつて、これ以上の投資対効果が高いゼミは他にありません。

## 第5章: 新任教員のゼミについて

ゼミ選びにおいて、今年度新任の先生(NEW)は志願者数が読めないため敬遠されがちですが、戦略的には最も美味しい狙い目になる可能性を秘めています。今年赴任した藤本先生、前林先生、内木先生の3名は、いずれも既に科研費を獲得しており、高い研究アクティビティを持つ実力派です。特に内木先生(金融)、前林先生(マクロ)は、同志社出身(同)という強みも併せ持っています。

- 金融・マクロ分野の救世主: 類型2で見たように、金融やマクロは超激戦区です。人気ゼミの選考に落ちるリスクを恐れるなら、実力十分でまだ倍率が跳ね上がっていない新しい先生を第1希望で狙うのは、極めて賢いリスク回避戦略です。
- 1期生の特権: 過去の先輩がいないため、ゼミのルールや雰囲気をも自分たちで作っていくことができます。これは就職活動においてゼロから組織を立ち上げたという強力なアピール材料にもなります。

## おわりに: 2年生への具体的なアクションプラン

倍率や楽単という噂だけでゼミを選ぶのはあまりにもったいないです。ここまでデータを読み解いた皆さんなら、自身のキャリアパスから逆算して、どのゼミの門を叩くべきかが見えてきたはず。最後に、具体的なアクションプランを3ステップで提示します。

1. 自分の目的を明確にしましょう。徹底的に鍛え上げられて学問の真髄に触れたいなら類型3や御所北セミナー(◆)の教員を。就活直結の実学を求めるなら類型2を。バランスを取りたいなら類型1や新任教員のゼミを視野に入れてください。
2. 専門分野の組み合わせを考えましょう。金融に行きたいから金融ゼミ、と短絡的に考える必要はありません。計量経済学や行動経済学の手法を学んでおけば、金融業界でもIT業界でも重宝される強力な武器になります。
3. 教員の生の論文やシラバスに触れましょう。データはあくまで入り口です。気になった教員がいれば、ぜひ大学のデータベースやGoogle Scholarで実際の論文のタイトルだけでも読んでみてください。そして、ゼミの説明会や見学に積極的に足を運び、そのゼミの特徴や強みを自分の肌で感じ取ってください。

2年半という貴重な時間をどこに投資するか。皆さんの戦略的で後悔のないゼミ選びを応援しています。